

○稲田議長 次に、田村議員。

〔田村議員質問席へ〕

○田村議員 同僚議員のキャッチフレーズが増えて、大変うれしい思いをしております。私が元祖、打って出る米子市を目指す田村でございます。本日は昨日の戸田議員の代表質問に関連しまして、私のほうからは、米子城跡の整備とマネタイズについて、そして、米子空港の増便化についてお尋ねをしております。明快な御答弁をよろしくお願いいたします。

それでは、昨日の代表質問でありましたマネタイズについてなんですけれども、基本、私、銀行員から市議会議員になったというのは、稼ぐまちというものをやはり意識しておりました。お金をどうやって稼いで自主財源を増やすのかということ考えた中で、やはり米子城跡というものが長年放置状態であったというふうに考えております。これも前議会でもお話ししておりますが、教育長であった北尾さんのほうから、教育委員会の所管であればお金なんか考えられないんだというふうなお話をいただいて、市政が変わる際にこの教育委員会から経済部への所管替えというのを強く要望させていただいて、現在につながっていると感じております。

その中で、まず、米子城跡に来ていただくということを考えるならば、この知名度ということ、再々お話が出ておりますけれども、このお城ランキングというものが一つの目安になるかと思っております。昨日も御答弁いただいておりますけれども、この日本のお城ランキング2023というものについて調べたところ、米子城というのは119位でありました。約3年前に最強の城という

ことでNHKで華々しく報道されたんですが、やはり今現在の状況であるということで、これは残念ながら直視しないといけない現実だと思っております。あの最強の城がなければ、もっと低かったかもしれないんですね。したがって、この現状について、本市としてどのような感想を持っておられるのか、まず伺いをいたします。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 お城ランキングについてでございますが、お城ファンが実際に訪れた日本のお城ランキングにつきましては、北海道から沖縄まで、全国に実在いたしました3,000のお城を対象に、「ニッポン城めぐり」アプリのGPSの位置情報を基に算出していると伺っております。その中で、2023年の結果は、おっしゃいますように米子城跡が119位にランクしておりますが、一つの指標として参考にしつつ、多くの方に訪れていただけるように、今後も米子城の魅力を発信してまいりたいと考えております。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 まずここで、やはり悔しいという思いを持っていただかないと、これは次につながらない、努力にはならない、そういうモチベーションにはつながらないと思うんですね。もうちょっと認知度を上げたい、その思いをまず持っていただきたい、これは指摘したいと思います。

この知名度向上について、魅力を発信したいというふうにおっしゃるんですけども、具体的にどのような取組を行っていかうと考えておられるのか伺います。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 米子城跡につきましては、その整備の推進によりまして、来訪者の方の満足度の向上を図ることとともに、様々な媒体を利用して米子城の魅力を市内外にPRしていくことで知名度の向上に努めてまいりたいと考えております。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 具体的にとちょっとお尋ねしたんですけれども、やはり今までの従前の答弁が繰り返されたというふうに考えております。来ていただいてよかったとと思っていただくためには、やはり景色がよかったとか地の利がよかったというのはもちろんなんですけれども、その思い出を共有、行ってない人に共有してほしいという思いが、ついて回るんですね。これは何かと云ったら、お土産というやつなんです。ここに行ってこんなものがよかったんだと、ぜひ知ってほしいというのが、全国にあるお土産であります。米子城については、私が議員になる前に米子城何々という商品は一切ありませんでした。相当調べたんですが、唯一引っかけたのは米城焼というのが、窯があって、昔そういうものを焼いておったげなというようなお話でありまして、私はこれはいかんということで様々な業種、お酒屋さんだったりお菓子屋さんだったりいろんなところに行って、米子城何々作ってくださいというのを大分お願いをしました。今、私がお願いしてないところでも米子城クッキーだとかいろんなものができてきておって、非常にこれはよかったなと思うんですが、やはりお金を落としてもらって、米子城訪ねてきていただいた方がそこにお金を落とす、これが普通の考え方だと思うんです。

まずその知名度を上げるというもので、具体的に答弁はいただけなかったんですが、昨年、これ毎年やってるんですが、全国お城E X P O、お城サミットというのがございます。昨年は9月に姫路で行われて、12月に横浜で開催されたというふうに聞いております。横浜の会場では、年々参加者、来訪者が増えてまして、2022年は1万5,000人程度だったのが、昨年は1万8,000超え、2万人近かったということでもあります。この先ほどのお城ランキングというのは、やはり全国に今すごくいらっしゃるお城ファンというものがその名前を知って、そこに訪ねてよかったということで投票してるわけなんです、本市はこのお城サミット、参加してないんですよ、ですよ。山城サミットというのは行ったというのは僕、聞きましたけれども、こういうのに参加しなければどうやって具体的に行きたいと思わせる、そういうモチベーションにつなげるのかということが完全に欠落してると思っております。こういったものにまず参加してなかった、その現状について、なぜなのか、理由も含めお聞かせください。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 なぜ参加しなかったかということでございますが、議員が先ほどおっしゃられましたように、これまで長年にわたりまして全国山城サミットというものに、これは23団体が出展いたしまして、昨年は2日間で約1万名の集客があったようなんですけども、そちらに参加しておったこともございまして、お城E X P Oについては参加していなかったところでございます。

米子城跡の有効な情報発信の方法といたしまして、そういったものへ参加することにつきまして、いかどうかにつきまして、

関係者とも相談して考えてまいりたいと思っております。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 ぜひ参加してください。これはもうやはり、来年、今年も開催予定なんですけれども、もうおよそ2万人の方が米子城という名前を知って帰っていただくという、こんな大チャンスはないと思っておりますので、ぜひお願いをします。強く要望をいたします。これ、山城サミット出てるからいいじゃんというお話だったんですけども、例えば岐阜県の恵那市にある山城、これも山城サミットに出ている岩村城であるとか加治田城ですか、こういった城山、山城もこういったイベントにも出ておられますので、米子城が天守がないから出れないということではないということをもまず知っていただきたいということです。

では、次、P a r k - P F I というものについて、これも議会でも何度か御提案をしております、公募設置管理制度ですね。これについて、市の方針として、このP F I についてどのように考えておられるのか。私は、やはり民間の力も借りながら、この米子城をどんどん活性化していただきたい、もちろん行財政改革の一つでも担うんですけれども、そういったものも民間に手伝っていただきながら米子城を盛り上げる、この手法であるP F I、P a r k - P F I はぜひ取り組むべきだと考えておりますが、本市の見解を伺います。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 P a r k - P F I についてでございますが、議員おっしゃられますように、P a r k - P F I というのは公園管理者以外の方が公園内に飲食施設などの便益施設を設置いたし

まして、その収益等をもちまして公園の整備等を行う手法でございますが、米子城跡につきましては、現在その大部分が国の史跡の指定地に該当しておりまして、文化財の保護の観点から、飲食店などの公園施設の設置ができるというような適地がなく、米子城跡でのP a r k - P F Iの活用は現状のところ困難ではないかと考えております。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 困難ではないかと考えておられるようでありますが、これ確認されましたか、実際に。普通の市民だと、ああ、米子城は国史跡だからああいうお店とかできないんだということを納得させる言い方をされたんですけれども、私そんなんでも、ああ、そうですかと思うわけがないんです。なぜかというところ、全国でこの国史跡城における活用については、具体的に言いますと、大阪だったら難波宮跡、鳥取県でも青谷上寺地遺跡、これも国史跡、これについても鳥取県がP F Iを検討しておったということでありまして、兵庫県の明石城、これも国史跡であります、P F Iをやっております。明石城の話を出しましたので、明石市の出している文章をちょっと読ませていただきますと、行財政運営方針の見直しを進めている中で、パークマネジメント、P a r k - P F Iによる民間活力の導入を推進し、民間の資金、経営能力及び技術的能力を最大限に生かして、より効率的、効果的な施設整備や管理運営を推進することとしている。こうした経緯を踏まえ、今後、さらなる史跡の活用を図り、県立明石公園の魅力を向上するために史跡明石城跡整備基本計画を策定することとしたという文章がございます。

私も、今おっしゃったように、国史跡だから駄目なのかということ、私、調べてみたら、国交省ですか、P F I等の制限事項という項目の中に、核心的な跡地の毀損にならないように留意しなければならない、すなわち核心的な部分を壊さなければできるといふように私は解しました。史跡内に今駐車場があってトイレもあって、このたびの便益施設、あれはいいんですかね。あれはよくて、しかもだんだんバスの駐車場にかけてはガイダンスエリアとして工作物が建つと。同じようなことじゃないんですか。例えば、あの便益施設がカフェを併設しておったりとか、お土産屋さんが併設しておったりとか、まちなか観光案内所の出張所があそこにあってお待さんが待機してるとか、そういうことがなぜ考えられなかったのか、これを指摘したいと思っております。

P a r k - P F I、今おっしゃったのは国史跡だから駄目なんだということですが、そうじゃないということをもまず認識を改めていただくとともに、米子城、これは本当に市民が1,000人上がりましたからよかったですとか、そんな年に1回、2回のことのマネタイズを語ってほしくないんです。以前、市長は、できればツアーとかでなくて、勝手に自動車等で来ていただいて勝手にお金を落としていただく、そういった仕組みづくりを考えなければいけないというふうにおっしゃったのを私よく覚えてます。そう、そのとおりだと私は思ったからすごく覚えてます。

したがって、今回のことも、今上げた前例をしっかりと研究、検討していただいて、P a r k - P F I、これから三の丸跡地の整備というのは、まだ青写真がきっちりできてない状態ですので、どういったものが考えられるのか。先ほど、門脇議員に対する答

弁で、さらなる取組の必要性を感じていると、そういうマネタイズをおっしゃったですね。だからそれができるのはPFIしか僕はないと思いますよ、もうこれははっきり言って。どうですか、ちょっとこれは通告してませんが、お考えをお聞かせください。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 三の丸広場の整備計画につきましては、基本整備の計画をもう立てているところでございます。例に挙げられましたガイダンス施設でございますが、ちょっと難しいかなと思った根拠もそれでございますが、今月末に完成してセレモニーを行いますけども、ガイダンス施設も、本来であれば史跡の中ではなくて、指定地外にやるものだという事とも協議の経緯で国から伺っています。それを何とか、ほかに適地がないということで、史跡の関連するガイダンス施設ということで中に造るということで認めていただいた経過があるというふうに聞いております。

したがいまして、もちろんマネタイズに関する施設が米子城跡になくていいということではないんですけども、現状やはり建てていく中で、特に三の丸についてはもう整備計画を立てておりますので、それを影響があるようなおそれがあるものを、現状、三の丸あるいは米子城跡の中に整備するということは困難ではないかという意味で、困難ではないかと考えているとお答えしたところでございます。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 研究してください。私も、今の答弁しっかりこれは文化庁へ行って確認をします。本当なんですかと。何でうちができないんですかと、これを言いたいと思っております。

質問を続けますね。具体的にお金を落としてもらう仕組みづくりというものについては、じゃあ、P a r k - P F I でできないんだったらどういうことを考えられるんでしょうか伺います。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 米子城跡では、これまでダイヤモンド大山ですとかオレンジロードなど、様々な媒体を活用したPRによりまして経済効果を生み出す仕組みに取り組んできているところでございます。また、今年度中には、三の丸広場の駐車場内にガイダンス機能を持った便益施設を開設いたしまして、来年度からは三の丸広場の本格的な造成にも着手するものでございます。それらを活用いたしまして、今後、来訪者の消費行動につながるような取組を考えてまいりたいと思っております。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。先ほどダイヤモンド大山観望会等のイベントのときには、キッチンカーを出してというお話がありました。平日、例えば、今は天気悪いですけれども、晴れてる日だったら我々がここで議論している間もいろんな方が米子城を訪れて、何も買わずに帰っていくという状況がずっと繰り返されるわけなんですけど、せめてキッチンカーであるとか、そういった移動販売の業者、市内にもたくさんいらっしゃいます。そういった方に、例えば、この期間、何とかさん、お願いできませんかという形でせめて恒常的な配置というのはできないか。マネタイズというのは、イベント時に年に2回、3回来て人が1,000人集まったからよかったねじゃなくて、恒常的にお金を落とさせていただくという仕組みをつくっていかないといけないと考えますので、

取りあえず P a r k - P F I に至らなくても今できることを考えるならば、キッチンカー、テント販売等の恒常的な設置というのを検討できないでしょうか。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 米子城跡を含みます湊山公園、米子城跡も湊山公園の一部であるんですけども、こちらでは、利用者の満足度の向上を目的といたしまして、そのエリアを定めて移動販売車などの出店を許可しているところがございます。米子城跡におきましても、整備の状況を鑑みながらではございますが、出店の場所を指定した上で、移動販売車の出店をその関係の事業者の方と相談しながら実施してまいりたいと考えております。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 分かりました。このキッチンカー、テント販売等、それはもちろん協議するとおっしゃっていただいたんですが、もう先行実施している他市もたくさんございます。実際にそこはどのような形でシステマチックにそういう業者に入ってもらってるのかということ、今おっしゃったような都度これから相談するのではなくて、決まりの中でやってる他市がありますので、そういったところをちゃんと研究していただきたいんですが、見解を伺います。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 米子城跡においては、移動販売車などの出店の実施について、本市の都市公園内のキッチンカー等の出店に係る要綱というのがございまして、そちらを基に検討いたしますとともに、議員おっしゃられますように、他市の状況についても

研究してまいりたいと考えております。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 ぜひお願いします。続いて、ナイトタイムエコノミーに資する施策ということでお尋ねします。

これは、私も、11年近く前、議員になって、もう真っ先に手すり夜間照明というのをずっと言い続けてまいりました。当時は、そんな米子城、夜上がるなんてとんでもないと、推奨しないという答弁をいただいたのですが、今粛々と工事が進んで、できた暁には夜間照明がLEDで照らされて、夜であっても安全に上がっていただくというインフラがそろうということになります。そうやって夜間も人が滞留していただけるというふうに生まれ変わっていく米子城跡、これのナイトタイムエコノミーの施策というのはどういうものを考えるのか伺います。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 議員から御提言いただいておりますナイトタイムエコノミーについてでございますが、早朝に開催されますダイヤモンド大山の観望会や、夕方に見ることができますオレンジロードのPRを行い、誘客を図り、宿泊や夜の飲食につながる施策を実施してまいったところでございます。将来的には、米子城跡整備計画の中で、今、議員がおっしゃられました登城路の手すりや夜間照明が設置されたそういったものの整備を予定しておりますので、整備後には夜間の足元の安全性が増しますことから、早朝、夕方に加えまして、夜景を活用した誘客を図ってまいりたいと考えております。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 よろしくお願いをいたします。それでは、私、夜も上がれるようにというのを言う前に、いろんな方から米子城は夜、真っ暗だなという話をいっぱいいただいていたんですけれども、いよいよそれが夜も御案内できるという状況になってくると、飲食であるとか宿泊であるとかそういった業者さんにも広くこのことを共有して、例えば、そこに行って夜景の写真撮ってそれを見せたら何%オフでもいいんですけれども、とにかく夜上がってくださいキャンペーン的なもので、宿泊もしていただいて、ぜひ上がってくださいというふうに誘導していただきたいなというふうに考えているんですが、そういった業者の方に対する夜の米子城跡に対する誘導策の検討、協力依頼というのをしていただけないかなと感じております。見解を伺います。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 現状におきましては、米子城跡周辺まち歩きマップによりまして、米子城跡周辺の米子駅、角盤町、朝日町にあります飲食店などの情報を観光客に周知し、誘導を図っているところがございます。引き続き、このまち歩きマップなどによりまして情報提供に努めますとともに、宿泊、飲食の関係団体の御意見、御協力もいただきながら、米子城跡を来訪される方の飲食店や宿泊施設への誘導を考えてまいりたいと、そのように考えております。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 よろしくお願いします。私、さっき言いましたけれども、写真を撮って、そうすると、スマートフォンに日付も時間も記録されるんですが、それを見せて、さっき行ってきましたよ

ということで、例えば朝日町だったりとかに行っていただくとか、そういうキャンペーンしたらどうですか。どうだった、きれいだった、ああだったというのを言いながら酒を飲んでいただくというようなことも誘導するというのは一つのアイデアかなというふうに思っております。ぜひお願いをしたいと。消費につながる提案をしていきたいと私も思っております。

この米子城跡なんですけど、今整備が進みつつあるといっても、ぱっと見て、城だと思って見ないと、やはり県外の人にはなかなか視認されにくいということがございます。兵庫県の明石城が、私、昔から知っているんですけども、白壁を復元したんですね、やぐらとやぐらの間、もうそれで一気に城だというふうに視認できるようになりました。やぐらがあったからできてたはできてたんですけど、やはり白壁というのは復元というのは非常に効果があるなという感じを非常に強く思っております。現在、福井城も白壁の復元にかかっておられますし、明石城のように、お城であるということ、大天守の復元よりも極めて要件の低いそういったものについては、発掘調査と並行してできるところ、やったところから復元をやっていただきたいと思っております。

米子城跡というのは、全国、私もいろんな城を見るんですけども、1桁国道というのが全国網羅してありますよね、1号線、2号線。米子は9号線が通ってるんですけども、鳥取方面から9号線で行くと、後藤の跨線橋を渡ると、目の前に上がってくる、目の前に現れる米子城、これは全国で多分米子だけだと思ってます。いわゆる1桁国道走ってて、真正面に城が見える。それは、まさに、知らない人はそのまま通過しちゃうと思うんですけど、そ

ここに白壁があると、城じゃんと、行ってみようかと僕だったら思います。城のファンの方でも思っただけ。したがって、こういった白壁の一部復元を先行実施をしていただけないか、これは、ぜひお願いというか、提案したいと思います。見解を伺います。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 白壁を先行して復元できないかというところでございますが、米子城跡の整備につきましては、現在、三の丸広場の整備ということに全力で取り組んでるところでございます。順番といたしましては、次は、二の丸、あるいは枡形の調査と整備というものをやろうと考えておりました、その後に白壁などの構造物の発掘調査と復元ができないかどうか、そういったものの検討を行ってまいりたいと現状では考えております。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 現状ではということなんですが、ぜひこれは、私も調べました。天守については、写真であったり古文書でいろんな要件が高いんですが、白壁というのは比較的復元要件が低いように調べております。ぜひ検討してください。お願いをします。

この項、最後になりますが、大阪・関西万博で外国人の方がどんどんやってくるというふうになってくるんですが、これについても、米子城、米子に来ていただくということをぜひ推進していただきたいと思います。円安で、日本に滞在中の可処分予算というのを非常にふんだんに持った外国人がうろうろするわけですよ。ぜひ米子に招きたい。そのツールとして米子城を海外発信できないかというふうを考えておりますが、見解を伺います。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 大阪・関西万博の機会を捉えました外国人の方への広報についてでございますが、鳥取県におきまして、各自治体の観光コンテンツを取りまとめまして、県の万博専用のポータルサイトですとかSNSによる発信を予定しているところがございます。その中で本市の観光情報もPRしてまいりたいと考えております。また、広域でも、中海・宍道湖・大山圏域観光局ですとか大山山麓・日野川流域観光推進協議会といった連携の枠におきまして観光資源などのPRを行い、誘客を図ってまいりたいと存じます。

また、それと併せまして、本市では県と協力いたしまして、米子城跡及び城下町エリアの観光コンテンツが登録されました多言語対応のオンラインデジタルマップを作成いたしまして、海外からもネット上で閲覧可能といたしまして、本市観光コンテンツの認知度向上と、来られた外国人の方のまち歩きの利便性向上を図ることとしております。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 ぜひお願いをしたいところであります。外国の方に刺さる風景、日本の美しい風景ということで、米子市はダイヤモンド大山というのがキラコンコンテンツになるんですが、よそを見ますと、ダイヤモンド浅間とかダイヤモンド筑波とか、ダイヤモンド富士なんていうのはもう日本を代表する景色として外国でも広く知られております。

特にダイヤモンド筑波なんていうのは、母子島という遊水地の手前で見ると上下に見えるという珍しい景色があったりして、外

国人が非常に行くんだそうです。そういったものに負けないような発信というのは必要だと思いますし、先ほど来、発信、発信と、SNSとおっしゃるんですが、米子市の公式X、旧ツイッターを見ますと、2021年の12月から指折り7回しか米子城を発信しておられません。こんな状況では、やはりこういった観光地の都市間競争には負けてしまうということになりますので、これについてはしっかりと力を入れていただきたいと思います。

次の項目、12時までには終わらせたいと思います。米子空港の増便化についてということで、関連質問を行います。

いわゆる台湾路線について、鳥取空港が今一生懸命やっていると、いうふうに新聞でも見ます。また、ベトナム便については出雲が一生懸命ということになるんですが、この国際定期便をいざ飛ばすとなれば、イミグレーションとあって、国の機関に来てもらう、常駐していただくというすごい手間がかかっていくんですが、それについては、もう既に米子空港は持っているという優位な状況がございます。したがって、特に台湾便については、松江市さんが長年の交流をやっておられて、本市もそれに中海圏域の市長会で交流をするという中で、これは鳥取を指をくわえて見てるのではなく、松江市さんと協力をして米子空港への誘致を図るべきだと考えますが、見解を伺います。

○稲田議長 伊木市長。

○伊木市長 台湾便の誘致についてでございますけれども、台湾へのプロモーションにつきましては、これは議員御指摘のとおり、中海・宍道湖・大山圏域市長会におきまして、まずは、松江市さんが長年にわたりまして台北市と連携をしておられたということ

もありまして、我々もこれを一緒にやることに今なっているところ
でございます。そうしたところにおきまして、現地でのトップ
セールスによりますつながりの強化ですとか、あるいは本市単
独といたしましても、台北市で開催されております台北温泉祭
りというのがございますが、ここに皆生温泉のブースを出展いた
しまして観光PRをしているところでもございまして、様々な形
で今認知度向上につなげるよう努力をしているところございま
す。そうした縁がございますので、台湾便につきましてはぜひ米
子というところで、鳥取県と力を合わせてこれはしっかりと動い
ているところでございます。

この台湾便、具体的な路線就航につきましては、最終的には鳥
取県が中心となって航空会社などへの働きかけを行っております
が、先ほど申し上げたような縁がこの米子にはありますので、こ
れは松江市さんとも連携をしながら、ぜひ米子空港に就航してい
ただけるようにしっかりとPRしていきたいと思っております。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 どうぞよろしく願いをいたします。力強いお言葉
を頂戴いたしました。ありがとうございました。

格安航空路線というのがございます。特に全国広く飛ばしてる
航空路線では、ピーチ・アビエーションさんというのがございま
す。これは関西空港、那覇空港を起点とした格安航空会社でござ
いいますが、これについても、全国の自治体、空港を持っていると
ころがエアポートセールスというのを活性化させているというふ
うに灰聞しております。本市も、この米子空港への就航というも
のを取り組めないか、見解を伺います。

○稲田議長 八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 格安航空会社の国内航空路線の誘致につきましては、これは鳥取県が中心となって現在事業者に働きかけを行っているところでありまして、引き続き鳥取県と適宜情報を共有しながら取組を進めてまいりたいと考えております。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 ぜひお願いをいたします。ピーチの就航先を見ると、大きい大都市、札幌、福岡とかあるんですが、長崎とか松山なんていう地方都市も手を挙げて誘致をしているというふうに聞いております。米子も頑張ってください。

それでは、先般、ちょっと前になりますが、米子関空路線を目指す新規航空会社ができたといい報道がなされております。こういった動きというのは非常にうれしく思うんですが、本市としてどういった支援が考えられるのか、見解を伺います。

○稲田議長 八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 新規航空会社の件につきましては、現在、鳥取県と情報共有をしながらその動向を注視している状況でありまして、現時点では、まだ本市としての具体的な支援策を検討する段階ではないものと考えております。引き続き鳥取県と連携しながら動向を注視して、必要に応じ、可能な支援策というのを検討してまいりたいと考えております。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 よろしくお願ひいたします。昨日の奥岩議員の質問、答弁の中で、台湾に行って、雑誌があつて、山陰というものがあつて、それを手にしたというふうなお話がありました。就航地

もしくは就航を考えると、そういったところには国内外問わず情報発信というのは非常に大事なんだなというふうに感じております。例えば空港に行き来する人というのは、もちろん目的地があるんですが、その目的地で全てが終了ではなくて、次はどこに行こうかという、いわゆる旅行マインドの高い人たちが極めて多いというふうに考えます。そういった中でも、ぜひ米子にということのプロモーション活動というのをしていくべきだという考えを私は持っております。本市もぜひそれに取り組んでいただきたいと思いますと思うんですが、見解を伺います。

○稲田議長 深田文化観光局長。

○深田文化観光局長 米子空港の就航地へのプロモーション活動についてでございますが、国際定期便の就航地へのプロモーション活動といたしまして、今年度は、ソウル便の利用促進に向け、韓国人の方のインフルエンサーによります現地に向けた情報発信に取り組んでいるところでございます。また、本市を含みます中海・宍道湖・大山圏域観光局におきまして、今年度は韓国や台湾をターゲットとしたウェブ記事の配信や台湾の国際線機内誌への記事掲載を実施したところでございます。来年度も引き続き国際定期便が就航いたします韓国ですとか台湾へのプロモーションを実施いたしますとともに、今後、香港なども含めました効果的なプロモーションについて考えてまいりたいと存じます。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 質問が前後して申し訳なかったですね。

では、最後の質問になります。米子市ともう既に姉妹協定がある中国の保定市、韓国・東草市との市民間交流というのが、この

増便化を目指す中で、票田といいたまうか、そのベースとして乗っていただける数だと考えるならば、この路線の維持、拡大については、もう既に本市が持っているこの姉妹協定関係、これを大事に活用すべきだと考えております。市民間交流というのは既にあつて、例えば保定だったら写真家集団であつたりとか、東草市だったら民間の日韓親善協会の西部の方だつたりとか、限定的なんですね。そうじゃなくて、やはり本市として、このまちはこういうものがあるんですよ、こういうことをされてるんですよという情報発信をしっかりと、そういう旅行、じゃあ、ここに行つてみたいなというふうなものにつなげる活性化というものに本市もぜひ力を注いでいただきたいと思いますと思つております。

例えば、韓国・東草市だったら、もう間もなく東西高速化鉄道というのが開通してソウルから非常に近くなるとか、そういった情報は本市でも持つはずですし、保定市でも同じような動きがあるはずですよ。そういったものを市報に載せたり、ぜひ皆さんも行つてみませんかというような働きかけをするべきだと思います。これは要望として申し上げますが、本市の見解を伺います。

○稲田議長 八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 姉妹友好都市とのさらなる市民間交流の活性化についてのお尋ねであるかと存じますが、これまで本市の国際交流員を各市内の小中学校や公民館などに派遣をいたしまして、市民の皆さんを対象に国際理解講座、その中で、この姉妹友好都市を紹介し、それぞれの都市の理解を含めてきたところでございます。今後につきましても、様々な機会を通じて興味、関心を持った市民の皆さんが、姉妹友好都市との直接的な交流につながる

よう、本市が両市民間交流の仲介役になるなど、そういうところの支援に取り組んでまいりたいと、そういうふうに考えております。

○稲田議長 田村議員。

○田村議員 最後になります。仲介役として、ぜひ本市がやっているこの国際交流、これを広く市民に知らしめて、こういった市民の空港利用の促進につなげるよう祈念しております。米子城もそうなんです、やはり米子市、どんどんお金をもうけていく、そういった発想の下、本市を売っていく、打って出る米子市をぜひお願いしたいというふうに申し上げて、私の質問を終わります。

○稲田議長 暫時休憩をいたします。

午前 11 時 57 分 休憩